

ESGに関する重要課題

山陽特殊製鋼グループは、あらゆるステークホルダーとの信頼関係を築くことで、当社グループの持続的成長を実現し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。企業は社会の一員であり、ステークホルダーからの信頼なくして会社の発展はありません。これからも、企業理念である「信頼の経営」を実践し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

	重要課題	目標・取り組み	2022年度実績(一部は2023年度実績)	参照ページ	関連するSDGs
E Environment	気候変動防止	2050年カーボンニュートラルの実現を目指す 2030年度目標：2013年度比50%削減	2022年度当社CO ₂ 排出量：53.5万t ※2013年度比36.4%(30.6万t)削減	P.19~21	 
	循環型社会への貢献	副産物の削減、3Rの推進	当社副産物のリサイクル率 87.3%	P.22	 
	環境負荷低減	規制基準の順守 (水質汚濁防止法、大気汚染防止法等)	全項目において規制基準の順守達成 (法令・協定からの違反・逸脱事例なし)	P.22 ~ 23	 
S Social	安全・防災	総合完全無災害の達成 (労働災害ゼロ、通勤途上災害ゼロ) 防災対策およびBCM(事業継続マネジメント)の充実	「トップダウンとボトムアップの融合」と「ハード対策とソフト対策の両輪」で作業リスク低減と安全に強い職場づくりの推進 工場火災や広域災害発生時を想定した防災訓練等の実施	P.24 ~ 25	 
	ダイバーシティ経営の推進	女性活躍推進(女性社員比率、女性管理職比率の増加)、 高齢者の活躍推進、障がい者の活躍支援、 ワークライフバランスの推進	女性社員比率 : 14% (企画職27%、技術職7%) 女性管理職比率 : 6.1% (2020年4月比+2.2%) 男性社員育児休業取得率 : 74%	P.26	 
	健康経営の推進	一人ひとりが毎日充実して働くことのできる 職場環境づくり	健康経営優良法人2023(大規模法人部門)に認定	P.27	 
	人材育成	自律考動型人材の育成 グローバル人材の育成	自律考動型人材、グローバル人材長期育成の取り組み 多面観察による自己変革プログラムの実施	P.28	 
	人権の尊重	人権を尊重した事業活動の推進	人権方針の策定 人権に関する教育および救済メカニズム(相談窓口)の運用 人権に配慮した合金鉄調達	P.28	 
	品質向上	品質マネジメントシステムの継続的改善等による 品質向上	品質マネジメントシステムの維持・管理・向上 風力発電 重要部品用鋼材のサプライヤーとしてTPG認証を取得	P.29	 
	技術先進性の更なる追求	グローバル展開を見据えた高信頼性商品と新技術の 迅速かつ継続的な創出	EV、風力発電、鉄道、水素社会等の分野での更なる高信頼性ニーズに 応える技術の深化を追究 カーボンニュートラル社会に貢献できる高炭素鋼「TOUGHFIT®」 (タフフィット)を商品化	P.29	 
	DXの推進	デジタル技術を活用した課題解決の迅速化や新たな価値 創出による競争力強化	代表取締役社長をリーダーとするDX推進プロジェクトチームを発足	P.30	 
	持続可能な調達の実現	公正・公平な取引とパートナーシップの構築 安定調達構造の構築	安定調達の推進 サプライヤー表彰の実施	P.30	 
G Governance	コーポレート・ガバナンス	コーポレート・ガバナンスの充実	監査等委員会設置会社に移行 実効性評価を踏まえた取締役会運営の継続的改善	P.31 ~ 33	
	内部統制システム	リスクマネジメント・コンプライアンス活動の推進	自律的内部統制システムの継続的改善 内部統制教育・周知活動の実施 コンプライアンス相談窓口(内部通報制度)の適正な運用		